

平成24年度事業報告書

自 平成24年4月 1日

至 平成25年3月31日

公益財団法人 海原会

平成24年度事業報告書

自 平成24年4月 1日

至 平成25年3月31日

当会の基本事業は、戦没された予科練同窓生各位の御霊に対して、深甚なる敬意を捧げてこの歴史的事実を正しく後世に伝承すること及びその御霊に尽瘁することであります。

然るに終戦以来69年を経過した今日、必然的に会員の高齢化が進みその結果として物故者が年毎に増加していること、更に体調を崩し気力は有っても行動が伴わないという現実の厳しさが増大傾向にあることなどから、その執行が困難化していることは遺憾ながら否めない現状であります。

今年度は東日本大震災という未曾有の災害から復興の1年でありましたが、被災地ではまだまだ復興を実感できる状況とはなっておりません。しかしながら、ともすれば日本人の心からはその記憶が遠のきがちとなっている。

我々海原会会員は、今から半世紀も前に若くして自らの命を投げ打って国難に殉じた予科練同窓英霊の思いを継承するという当会の目的を達成するために、会員一同老体にムチ打って平成24年度の事業にも全員が一丸となって精進してまいりました。

以下その概要を御報告いたします。

I 慰霊顕彰事業

慰霊顕彰事業の最も重要なものは、陸上自衛隊武器学校の敷地内に建立されている「雄翔園」における「予科練戦没者慰霊祭」であります。平成24年度は前年度に引き続き若葉薫る5月に実施いたしました。昨年度とはうって変り、初夏の香りを感じる快晴のもと約400名の同窓生及びご来賓の皆様が、日本全国からご参列頂き、厳粛かつ和やかな慰霊祭を挙行することができました。

「予科練慰戦没者霊祭」以外に全国各地で行われた慰霊祭にも、海原会役員を出席させる等本会の目的である予科練出身戦没者の慰霊・顕彰を推進しました。

その主要なものは以下に記述するとおりであります。

1 第45回予科練戦没者慰霊祭

(1) 日 時 平成24年5月27日(日) 午前11時

(2) 場 所 陸上自衛隊武器学校内 「雄翔園」

(3) 実施内容

ア 慰霊式典

雄翔園内「二人像」前において、実行委員長 酒井理事の開式の辞に引き続き、国歌吹奏・献火・高松宮妃殿下御歌奉詠・式辞・追悼の言葉・献花・来賓挨拶
・ ご遺族の言葉と続き参加者全員で若鷺の歌を合唱して無事式典を終了しました。

イ 直会

慰霊式典に引き続き、368名のご遺族並びにご来賓の皆様をお招きして、直会を実施しました。直会は、阿見町長 天田富司男様のご挨拶に引き続き、阿見町町議会議長 倉持松雄様の乾杯ご発声により開始され武器学校所属の常陸陣太鼓の慰霊演奏など、会員相互に懇親の実をあげて終了しました。

2 全国各地で举行された慰霊祭への参加

平成24年	4月	1日	浜空鎮魂之碑慰 横溝理事長が出席しました。	於浜空神社跡
		4日	予科練雄飛会総会及び慰霊祭 横溝理事長・平野理事が出席しました。	於靖国神社
5月	27日		第45回予科練戦没者慰霊祭	於陸自土浦駐屯地内
	27日		日米合同慰霊祭 菅野理事が主催しました。	於静岡県賤機山山頂
7月	9日		大東亜戦争全戦没者合同慰霊祭 助村理事・佐藤監事が出席しました。	於靖国神社
	15日		東京甲飛会みたま祭り	於靖国神社
	15日		東京甲飛会解散式 横溝理事長・酒井副理事長他理事が出席しました。	於東海大学校友会館
8月	15日		全国戦没者追悼式典	於日本武道館
9月	13日		串良基地戦没者慰霊式	於串良基地跡地
	22日		特攻平和観音年次法要	於世田谷観音寺
10月	18日		靖国神社秋季例大祭 平野理事が出席しました。	於靖国神社

II 定期刊行物発行事業

機関誌月刊「予科練」は、発刊以来414号を数えております。

その編集にあたっては、全国各会の活動状況の紹介や、予科練同窓の戦争体験談等、ご遺族の皆様に喜ばれるような内容の充実に力を入れてきました。

しかしながら、会員からの投稿記事も会員数の減少に伴い減少傾向にあり、機関誌の編集も思うに任せない状況となっています。このため、本年度は海原会の現状報告や雄翔館の整備状況紹介など海原会の活動状況の紹介を積極的に掲載するなど、これまでの戦争体験談やご遺族からの投稿記事主体の編集から会員相互の情報交換のための編集に配慮しました。

また、同誌に投稿をしていただいた方に記事が掲載された機関誌を贈呈することにより、会員以外の購読者の発掘につなげることができました。

1 編集会議

計画どおり、年間6回の編集会議を海原会事務局会議室で行いました。

2 機関誌の発行

計画どおり、第409号から第414号までの6回の機関紙の発行を行いました。

III 青少年育成支援事業

青少年育成のため、会員から候補団体などの情報を収集して、理事会に図ったうえ支援を行うように努めましたが、今年度は特に新しい支援候補団体の推薦もなく例年どおり雄翔園所在地元の阿見町に対して支援を行いました。

IV 遺書・遺品・実戦記録等の整備事業

戦後69年の年月が経過し、ご遺族に残された戦没者の遺書や遺品もその維持・管理が困難となるケースが多くなりつつあります。このため、海原会ではそれらの遺書・遺品・実戦記録などを収集して、後世に伝えるための事業を25年度以降準備していますが、それに先立ち本年度は現在海原会が雄翔館内に所蔵している遺書・遺品・遺影等の資料の電子データ化を推進するとともに、雄翔館内の展示要領の見直しを実施しました。

1 第1期整備作業（平成25年3月4日～5日）

雄翔館内所蔵の遺書・遺品・遺影等を一時的に、海原会保管庫へ移動

福田裕理事を始め、霞ヶ浦支部員17名及び武器学校OB浅原秀穂、中村輝久、道幸〇〇、前野修の4氏が協力して、実施しました。

2 第2期整備作業（平成25年3月6日～19日）

雄翔館内の壁紙及び展示用フェルトの更新並びに吊り下げ式ディスプレイの撤去作業の実施
福田裕理事及び、霞ヶ浦支部員で実施しました。

3 第3期整備作業（平成25年3月26日）

戦没者紹介パネルの展示作業の実施

福田裕理事を始め、霞ヶ浦支部員及び武器学校OB浅原秀穂、中村輝久の両氏が協力をして実施しました。

4 雄翔館プレオープンセレモニーの実施

平成25年4月6日に、陸上自衛隊武器学校の観桜会行事に先だって武器学校の主催による雄翔館のプレオープンセレモニーが開催されました。濱崎駐屯地司令の挨拶の後、理事長、副理事長によるテープカットが行われ、新展示のコンセプト等の説明を福田裕理事が行いました。

V 遺族支援調査事業

祖国存亡のときに、若き一身を国に捧げて悠久の大儀に殉じた多くの我が予科練同窓のご遺族も年々亡くなられて、親の代から兄弟・姉妹へと移り、中には孫の代になり、世情も戦争犠牲者への関心が薄れだんだん風化されつつある現状を鑑み、音信不通のご遺族の所在を調査して会報を送付し、また本会主催の慰霊祭は勿論のこと、各地各期が催す慰霊祭にも出席の勧誘を実施して参りました。

IV 庶務事項

(1) 理事会開催

月1回の定例理事会を海原会事務局会議室において、計画どおり実施しました。

平成24年4月19日 5月23日 6月11日 7月18日 8月22日

9月21日 10月23日 11月22日 12月14日

平成25年1月22日 2月14日 3月19日

(2) 編集会議

機関誌月刊「予科練」の編集会議を海原会事務局会議室において実施しました。

平成24年 5月8日 6月13日・19日 7月11日 8月3日 9月24日

10月10日 11月6日・13日・26日 12月12日

平成25年 1月11日・30日 2月12日 3月8日・28日

(3) 平成24年度評議員会開催

平成24年6月11日 於霞ヶ関ビル東海大学交友会館

平成23年度事業実施状況・会計報告及び平成24年度事業計画・予算案の審議を行い、賛成多数で可決されました。

(4) 会計監査

平成24年5月9日 海原会会議室

平成24年度の評議員会の開催に先立ち、平成24年度の経費執行状況について監事2名による監査を実施し、平成24年度海原会の経費執行に関して問題のないことを確認しました。